



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月13日

上場会社名 SDエンターテイメント株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4650 URL https://www.sdentertainment.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平川 真淳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 佐藤 美幸 TEL 011-860-2525
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,325	△42.2	85	570.5	54	—	17	—
2019年3月期第2四半期	4,025	3.5	12	—	△57	—	△206	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 18百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 △205百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	1.90	—
2019年3月期第2四半期	△23.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	7,203	2,027	28.1	226.45
2019年3月期	8,042	2,009	25.0	224.40

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 2,027百万円 2019年3月期 2,009百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	1.56	1.56

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	△31.9	160	—	130	—	70	—	7.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	8,997,000株	2019年3月期	8,997,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	42,988株	2019年3月期	42,988株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	8,954,012株	2019年3月期2Q	8,954,012株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、個人消費は緩やかに回復しているものの、2019年10月からの消費税増税や長引く日韓問題等による今後の影響が懸念され、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

当社は前連結会計年度より進めてまいりました不採算店舗の閉店を継続することに加え、経営管理の高度化を進めるため社内に投資委員会及び人事委員会を設置し、より適切な経営判断を実施できる体制を継続してまいりました。また、フィットネス事業及びインターネットカフェ事業の業態変更や運営方法の見直しなどの構造改革を実施するとともに、保育事業・オンラインクレーンゲーム事業についても市場環境や動向を見据え、積極的に投資してまいりました。

当第2四半期連結累計期間については、会社分割と不採算店既存店の大規模閉店を前期実施したことの影響に加え、今期は複数店舗で休業を伴うリニューアルを実施したことで前期に比べ大幅な減収となりましたが、ウェルネスにおいては主にフィットネス事業での収益体質に向けた構造改革が順調に推移し、クリエイションにおいてもオンラインクレーンゲーム事業が順調に業績を伸ばしたことで、第1四半期に新設した保育園の開業費は大きな負担となったものの営業利益以下は前期に比べ増益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は23億25百万円（前年同四半期比42.2%減）、売上総利益は21億円（前年同四半期比35.6%減）、営業利益は85百万円（前年同四半期比570.5%増）、経常利益は54百万円（前年同四半期は経常損失57百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億6百万円）となりました。

第1四半期連結会計期間より、固定資産の圧縮記帳の会計処理について会計方針の変更を行っており、遡及適用後の数値で前年同四半期比較を行っております。

当第2四半期連結累計期間における売上高をセグメント別に示すと次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

＜事業部門売上高＞

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	前年同四半期比 (%)
ウェルネス事業 (千円)	1,643,947	107.1
(フィットネス)	938,442	90.4
(保育・介護等)	705,504	142.0
クリエイション事業 (千円)	261,236	128.4
(オンラインクレーンゲーム)	207,989	255.4
(インターネットカフェ)	53,247	43.7
不動産賃貸事業 (千円)	167,424	147.8
その他 (千円)	252,683	141.0
合計 (千円)	2,325,292	57.8

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. ウェルネス事業は、前期と同様フィットネス部門、保育部門、介護部門等の売上高であります。

3. クリエーション事業は、前期のエンターテイメント事業のオンラインクレーンゲーム部門、インターネットカフェ部門の売上高であります。

4. 不動産賃貸事業は、前期のエンターテイメント事業の不動産賃貸部門の売上高であります。

5. その他は、通信テレマーケティング部門、カウネット代理店部門等の売上高であります。

(ウェルネス事業)

フィットネスは、これまで競合店の少ない地方出店戦略を押し進めて参りましたが、昨年度より既存店の近隣に競合店が相次いで出店するようになり、これまで好調であった店舗においても在籍会員の流出、新規入会者の獲得減少が発生したことから在籍会員数が減少いたしました。また、構造改革の一環として不採算店舗の閉店を実施し、既存店の新業態へのコンバージョンによる休業を行ったことにより売上高は前年同期比90.4%となりました。

保育・介護等は、既存保育園に加え今期開園した保育園9園の利用者が順調に増えたことに加え、高齢者および学童向けデイサービス事業も前期比で増加したことから、売上高は前年同期比142.0%となりました。

以上の結果、ウェルネス事業セグメント全体の売上高は16億43百万円（同107.1%）となりました。

(クリエイション事業)

オンラインクレーンゲームは、昨年9月に開業した当社新ブランドの「とれたね」が期首から寄与し、利用者数を好調に増やすことができた結果、売上高は前年同期比255.4%となりました。

インターネットカフェは、不採算店舗の閉店と今年6月に「ディノスカフェ大曾根駅前店」を、8月に「ディノスカフェ天六店」を店舗改装のため休業したことにより大きく減収し、売上高は前年同期比43.7%となりました。

以上の結果、クリエイション事業セグメント全体の売上高は2億61百万円（同128.4%）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸は、当社が北海道内に保有する建物の新たなテナント獲得により、売上高は1億67百万円（同147.8%）となりました。

(その他)

当社子会社が運営するコールセンター等の売上高は2億52百万円（同141.0%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は15億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億29百万円減少しました。これは主に現金及び預金が6億48百万円減少したことによるものであります。固定資産は56億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2百万円減少しました。これは主に差入保証金が86百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、72億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億38百万円減少しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は30億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億80百万円減少しました。これは主に未払法人税等が3億70百万円及び店舗閉鎖損失引当金が92百万円減少したことと、短期借入金が4億94百万円増加したことによるものであります。固定負債は21億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億77百万円減少しました。これは主に社債が2億10百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、51億76百万円となり前連結会計年度末に比べ8億57百万円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は20億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円増加しました。これは主に利益剰余金が17百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は28.1%（前連結会計年度末は25.0%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ6億39百万円減少し、7億円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は、4億71百万円(前年同四半期は2億84百万円の増加)となりました。これは主に、法人税等の支払額による減少額が3億75百万円、未払金の減少額が2億44百万円、その他資産の減少額が2億12百万円、売上債権の増加額が1億86百万円あったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、1億74百万円(前年同四半期は2億85百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が3億20百万円、有形固定資産の売却による収入が1億60百万円あったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は、6百万円(前年同四半期は92百万円の支出)となりました。これは主に、短期借入れによる収入が5億26百万円、社債の償還による支出が2億77百万円、長期借入金の返済による支出が1億56百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月15日付「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表した連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(固定資産の圧縮記帳の会計処理の変更)

当社は、固定資産の圧縮記帳の会計処理について、従来、利益処分方式による会計処理を行っておりましたが、第1四半期連結会計期間より固定資産の取得原価から直接減額する方式に変更しております。

この変更は、当社グループにおける事業構造の変化に伴い保育事業の重要性が増している状況から当該事業の固定資産に対する圧縮記帳の会計処理を検討した結果、利益処分方式を採用するよりも、直接減額する方式を採用する方が、当社グループの実態に即した、より適切な経営成績及び財政状態の開示に資すると判断したためであります。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の建物(純額)は165,705千円、繰延税金負債は30,137千円、利益剰余金は115,330千円減少し、繰延税金資産は20,236千円増加しております。

前第2四半期連結累計期間の営業利益は5,357千円増加し、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は5,357千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は3,729千円それぞれ減少しております。

前第2四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フロー計算書は、営業活動によるキャッシュ・フローにおける税金等調整前四半期純損失が5,357千円減少し、減価償却費が同額減少しております。

また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の遡及適用後の前期首残高は122,788千円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響及び1株当たり情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,349,236	700,573
売掛金	269,955	456,893
商品	30,791	25,930
貯蔵品	24,692	49,299
未収還付法人税等	11,398	-
その他	584,866	308,886
貸倒引当金	△931	△1,293
流動資産合計	2,270,008	1,540,290
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,083,441	2,232,644
土地	2,056,724	2,056,724
その他(純額)	286,488	180,760
有形固定資産合計	4,426,655	4,470,129
無形固定資産		
のれん	97,440	86,274
その他	95,702	75,033
無形固定資産合計	193,143	161,307
投資その他の資産		
差入保証金	869,466	782,692
繰延税金資産	33,271	31,245
その他	208,240	182,929
投資その他の資産合計	1,110,979	996,866
固定資産合計	5,730,777	5,628,303
繰延資産	41,961	35,160
資産合計	8,042,747	7,203,754
負債の部		
流動負債		
買掛金	193,802	125,361
短期借入金	760,000	1,254,600
1年内償還予定の社債	477,000	410,400
1年内返済予定の長期借入金	298,767	281,578
未払法人税等	415,672	45,264
賞与引当金	14,236	20,911
店舗閉鎖損失引当金	92,597	-
株主優待引当金	45,090	45,090
その他	1,209,423	843,323
流動負債合計	3,506,589	3,026,528
固定負債		
社債	1,265,300	1,054,900
長期借入金	936,226	796,837
繰延税金負債	158	-
資産除去債務	141,729	146,280
その他	183,488	151,565
固定負債合計	2,526,901	2,149,582
負債合計	6,033,491	5,176,111

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	227,101	227,101
資本剰余金	1,926,351	1,926,351
利益剰余金	△140,507	△123,500
自己株式	△9,684	△9,684
株主資本合計	2,003,261	2,020,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,995	7,375
その他の包括利益累計額合計	5,995	7,375
純資産合計	2,009,256	2,027,642
負債純資産合計	8,042,747	7,203,754

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	4,025,406	2,325,292
売上原価	761,649	225,060
売上総利益	3,263,756	2,100,231
販売費及び一般管理費		
給料	1,022,584	736,935
賞与引当金繰入額	10,730	20,911
退職給付費用	10,669	7,506
地代家賃	581,905	247,896
その他	1,625,124	1,001,551
販売費及び一般管理費合計	3,251,015	2,014,801
営業利益	12,741	85,430
営業外収益		
受取利息	785	578
受取配当金	330	535
受取保険金	673	3,061
物品売却益	-	1,179
その他	4,841	4,339
営業外収益合計	6,631	9,693
営業外費用		
支払利息	35,167	23,443
アミューズメント機器処分損	11,622	-
その他	30,350	16,873
営業外費用合計	77,140	40,316
経常利益又は経常損失(△)	△57,767	54,807
特別利益		
補助金収入	60,659	82,127
固定資産売却益	-	7,336
資産除去債務戻入益	-	10,636
特別利益合計	60,659	100,101
特別損失		
固定資産売却損	-	246
固定資産除却損	34,265	6,893
減損損失	20,380	-
店舗閉鎖損失	4,644	8,605
店舗閉鎖損失引当金繰入額	3,380	-
災害による損失	53,650	-
固定資産圧縮損	-	76,181
特別損失合計	116,322	91,926
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△113,431	62,982
法人税、住民税及び事業税	48,057	44,583
法人税等調整額	45,134	1,392
法人税等合計	93,192	45,975
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△206,624	17,006
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△206,624	17,006

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△206,624	17,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	824	1,380
その他の包括利益合計	824	1,380
四半期包括利益	△205,799	18,386
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△205,799	18,386
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△113,431	62,982
減価償却費	320,572	136,511
のれん償却額	11,166	11,166
減損損失	20,380	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△339	361
ポイント引当金の増減額(△は減少)	7,039	-
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	3,380	△7,187
災害損失引当金の増減額(△は減少)	38,033	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,730	6,674
資産除去債務戻入益	-	△10,636
受取利息及び受取配当金	△1,116	△1,113
支払利息	35,167	23,443
社債発行費償却	12,319	6,801
固定資産売却損益(△は益)	9,529	△7,090
固定資産除却損	36,328	6,893
固定資産圧縮損	-	76,181
補助金収入	△60,659	△82,127
売上債権の増減額(△は増加)	△15,987	△186,938
たな卸資産の増減額(△は増加)	△26,393	△19,747
その他の資産の増減額(△は増加)	△4,276	212,242
仕入債務の増減額(△は減少)	△780	△68,440
未払金の増減額(△は減少)	△12,629	△244,357
その他の負債の増減額(△は減少)	15,388	△84,767
小計	284,422	△169,148
利息及び配当金の受取額	335	543
利息の支払額	△33,676	△15,946
役員退職慰労金の支払額	-	△8,549
補助金の受取額	112,766	96,766
法人税等の支払額	△79,552	△375,283
営業活動によるキャッシュ・フロー	284,295	△471,617
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7,601	△9,401
定期預金の払戻による収入	6,600	18,602
長期貸付金の回収による収入	16,353	16,353
出資金の回収による収入	-	66
出資金の払込による支出	-	△30
有形固定資産の取得による支出	△292,552	△320,474
有形固定資産の売却による収入	3,763	160,555
投資有価証券の取得による支出	△620	△633
投資有価証券の売却による収入	-	250
無形固定資産の取得による支出	△4,391	△16,343
差入保証金の差入による支出	△5,536	△440
差入保証金の回収による収入	1,154	17,723
長期前払費用の取得による支出	△2,768	△493
資産除去債務の履行による支出	-	△39,985
投資活動によるキャッシュ・フロー	△285,599	△174,251

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	180,000	526,700
短期借入金の返済による支出	△70,000	△32,100
長期借入れによる収入	800,000	-
長期借入金の返済による支出	△259,048	△156,578
社債の償還による支出	△562,600	△277,000
セール・アンド・割賦バックによる収入	99,952	-
長期未払金の返済による支出	△132,905	△34,652
リース債務の返済による支出	△139,449	△19,960
配当金の支払額	△8,907	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△92,958	6,406
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△94,262	△639,461
現金及び現金同等物の期首残高	1,053,738	1,340,034
現金及び現金同等物の四半期末残高	959,475	700,573

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。